JQA

発行日：2026 年 7 月 21 日
第 1811005312 号

温室効果ガス排出量検証報告書

スカパーJSAT株式会社　御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構（以下、「当機構」という。）は、スカパーJSAT 株式会社が作成した「2025 年度温室効果ガス（GHG）排出量算定報告書（Scope 1、2、3）」（以下、「算定報告書」という。）が、同社により作成された「温室効果ガス（GHG）排出量算定ルール（Scope 1、2）」及び「温室効果ガス（GHG）排出量算定ルール（Scope 3）」（以下、「算定ルール」という。）に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2025 年度とは、2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間をいう。

検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社の温室効果ガス（GHG）排出量及びエネルギー使用量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、GHG 排出量については「ISO14064-3」に準拠し、エネルギー使用量については「ISAE3000」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は、Scope1、2 の GHG 排出量についてはエネルギー起源 CO2 及び HFCs、Scope3 の GHG 排出量についてはカテゴリ 1、2、3、4、5、6、7、11、12、13、15 であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は各項目に対して算定数値の 5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、Scope1、2 の GHG 排出量及びエネルギー使用量についてはスカパーJSAT 株式会社及びグループ会社 7 社の計 8 社、Scope3 の GHG 排出量についてはスカパーJSAT 株式会社とした。

検証では、統括部門において、算定ルールの確認を実施し、Scope1、2 については、サンプリングによりスカパーJSAT 株式会社本社及び横浜衛星管制センターにて現地検証を行った。現地検証では、算定対象範囲の確認、排出源及びモニタリングポイントの確認、算定集計体制の確認、エネルギー使用量、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。Scope3 については、統括部門において、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の 2025 年度の Scope1、2、3 の GHG 排出量及びエネルギー使用量において、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の算定責任はスカパーJSAT 株式会社にあり、GHG 排出量及びエネルギー使用量の検証の結論に関する責任は当機構にある。スカパーJSAT 株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目 25 番地

一般財団法人日本品質保証機構

常務理事　浅 田 純 男